

# 環境経営活動レポート



2022年度版

運用期間

2022年1月～平成2022年12月

作成2023年4月5日

株式会社 松本土建

# 目 次

- 1 組織の概要
- 2 対象範囲
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営活動計画
- 6 環境経営目標と実績及び評価
- 7 環境経営活動の取組結果の評価 次年度の取組
- 8 環境関連法規等への違反・訴訟の有無
- 9 社会貢献活動
- 10 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1 組織の概要

事業者名及び代表者名

株式会社 松本土建

代表取締役 松本 祐任

所在地

〒939-1304 富山県砺波市秋元655

事業内容

建築・土木工事の施工

建設業の許可 富山県知事 (特-3)(般-29)1878号

(特定) 土木・鋼構造物

建築・大工・とび土工・石・舗装・造園・管・鋼構造物・水道施設・解体

事業規模

創 業 昭和9年

設 立 昭和34年12月23日

資 本 金 2,000万円

売 上 高 173, 181千円(令和4年実績)

社 員 数 13 名

事業所の延床面積 569 m<sup>2</sup>

## エコアクション実施体制

EA21 環境管理責任者  
松 本 祐 任

EA21事務局  
総務 波能三智子

統括現場責任者  
餅田 昇

事業所内責任者  
松本由永子

各作業所責任者  
現場代理人

各作業所  
作業員



## 【エコアクション実施体制表】

【責任・権限表】

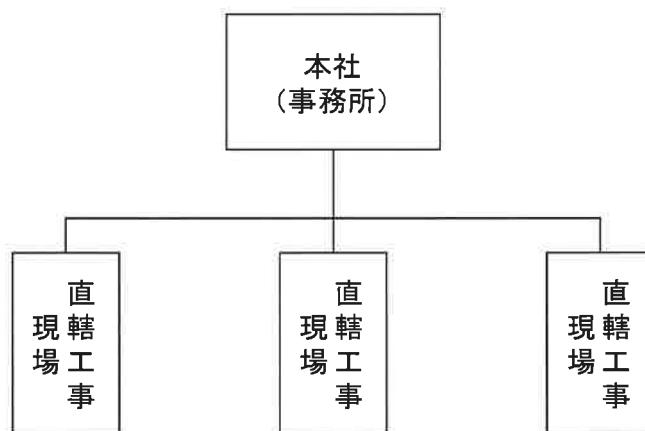
◎:責任者 ○:関与

役割・責任・権限	環境管理 責任者	統括 現場 責任者	各作業所 責任者	事業所内 責任者	事務局 責任者	現場 事務局	作業員
環境システムに関する統括責任	◎						
環境システムに必要な資源の準備	◎	○					
環境システムの構築、実施、管理	◎	○	○	○	○	○	
環境目標・活動計画策定と実施	◎	○	○	○	○	○	
EA21認証に関する諸手続	◎	○			○		
法規のチェック	○	○			◎		
法規の遵守状況の確認	○	◎	○	○	○	○	
環境活動レポート作成と公開	◎	○			○		



## 2 対象範囲

エコアクション21による環境活動範囲は、本社業務(事務所)及び本社直轄の工事現場としました。



# 環 境 経 営 方 針

株式会社 松本土建は、建設業を生業としその事業活動を通じて美しい環境に恵まれた郷土を守り、次世代へ大切な自然環境を引継がねばならない責務があります。自然と調和・共生をなす建設業の私達から環境負荷の低減を図る為に社員全員で取り組み、継続的な改善に努めます。

## 《環境保全への行動指針》

1. 事業活動に当って環境に配慮し、環境保全の継続的推進に努める。
2. 環境関連の法規、条例及びその他の関係法令・規制を遵守する。
3. 次の事項を当社の重点環境目標として取組み、積極的かつ継続的な環境への取組を推進する。
  - ① 事業活動で発生する二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努める。
  - ② 水使用量の削減により、限りある水資源の保全に努める。
  - ③ 廃棄物の再資源化を徹底し、廃棄物の削減に努める。
  - ④ エコな工法・リサイクル品の使用・自然エネルギーの利用等、環境保全活動を推進する。
  - ⑤ 事務用品は、グリーン購入を推進し、資源の有効利用に努める。
  - ⑥ 行政機関、地域の団体などの環境保全施策に積極的に協力する。
4. 上述の環境方針に従い、事業活動を行い、常に環境意識を高める為全社員に周知徹底し、目標達成に努める。  
尚、この方針は全社員及び、社外にも公表します。

制定日 平成 21 年 10 月 1 日

改正日 平成 25 年 12 月 1 日

改正日 令和 元 年 12 月 1 日

株式会社 松本土建

代表取締役

松本祐仁



## 4 環境経営目標



中期の環境経営目標の設定 令和4年から令和6年まで

運用期間は1月～12月(会計年度)とする。

令和4年度までの中期目標を下記の通りとし、基準となる令和3年の負荷の実績とする。

### 【現場令和4年～令和6までの目標】

環境目標	分類	項目	単位	令和3年 基準値	令和4年 目標	令和5年 目標	令和6年 目標	
CO2排出削減	温室効果ガス排出量	購入電力	Kg-CO2	5,055	現状維持	現状維持	現状維持	
		化石燃料	Kg-CO2	8,652	現状維持	現状維持	現状維持	
		二酸化炭素 (合計)	Kg-CO2	13,707	現状維持	現状維持	現状維持	
廃棄物排出削減	廃棄物等総排出量	廃棄物総排出量 (合計)	kg	31	現状維持	現状維持	現状維持	
排水量の削減	水資源投入量	上水道使用量	m3	72	現状維持	現状維持	現状維持	
環境保全	地域貢献			地域ボランティア活動 資材車輌提供				
グリーン購入	エコマーク・ グリーン商品購入			単価・継続性を考え、可能な品目で対応				

### 【現場令和4年～令和6までの目標】

環境目標	分類	項目	単位	令和3年 基準値	令和4年 目標	令和5年 目標	令和6年 目標	
CO2排出削減	温室効果ガス排出量	購入電力	Kg-CO <sub>2</sub>	1,654	現状維持	現状維持	現状維持	
		化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	75,928	現状維持	現状維持	現状維持	
		二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	77,582	現状維持	現状維持	現状維持	
廃棄物排出削減	廃棄物等総排出量	廃棄物総排出量 (合計)	t	556.315	現状維持	現状維持	現状維持	
環境保全	重機点検・整備			油漏れによる環境汚染を起こさない				
グリーン購入	エコ購入			新しい技術や工法があれば、 単価や維持性を考え採否を検討する				

化学物不使用

電力のCO2排出係数は0.647kg-CO2/kWhで計算しています

## 5 環境経営活動計画

項目	目標
（二酸化炭素削減） 地球温暖化防止	空調温度の適正化(冷房26°C) 不要照明の消灯 パソコン・コピー未使用時は省電力に設置 アイドリングストップ エコドライブ 最短距離移動 重機の省エネ運転 ダンプから不要な物を降ろす
廃棄物の削減	事務の廃棄物量の把握 ゴミ分別の徹底 コピー用紙量の削減 マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理・確認 素材別ボックスの設置
水資源の保全	・節水の呼びかけ ・水道施設の保全(定期点検) 植木の水やりは用水の水を利用
環境保全活動の推進	・重機点検・整備 ・除雪 清掃 除草 剪定 ・地域の環境保全活動に参加する ・リサイクル品の使用促進 ・資材の適正発注による廃棄物・在庫の減量化
グリーン購入の推進	・グリーン購入法適用外でも、環境配慮したものを段階的に取り入れる



## 6 環境経営目標と実績及び評価

### 【令和4年年1月～令和4年12月 環境負荷の実績 事務所】

環境目標	環境活動運用期間	
	目標値	実績値
地球温暖化防止 （二酸化炭素削減）	・燃料・電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	13,707kg-CO2 16,677kg-CO2
廃棄物の資源効率利用の有	・一般廃棄物の削減	31kg 33kg
節水	・排水量の削減	72m <sup>3</sup> 40m <sup>3</sup>
保全生態系の推進	・環境保全	地域ボランティア活動 資材運搬提供
のんぎ促調り進達	・グリーン購入の推進	単価・継続性を考え、可能な品目で対応



### 【令和4年年1月～令和4年12月 環境負荷の実績 現場】

環境目標	環境活動運用期間	
	目標値	実績値
地球温暖化防止 （二酸化炭素削減）	・燃料・電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	77,582kg-CO2 67,408kg-CO2
資源の有効利用 廃棄物の削減	・産業廃棄物の削減	556.315t 545.42t
保全生態系の推進	・環境保全	エコな工法の推進 再生碎石・再生材入アスファルトなどの使用に努める

※二酸化炭素総排出量は85,013kg-CO2です

## 7 環境経営活動の取組結果の評価 次年度の取組



【令和4年1月～令和4年12月 環境負荷の実績 事務所】

取組み項目	取組み内容	結果	結果の評価	次年度の取り組み
燃料・電力の消費に伴う 二酸化炭素排出量の 削減	*昼休み使用しない部屋等の照明消灯と、事務所の部分照明の実行	○	*外出時・昼休み時等使用しない時の電気ON・OFF管理・冷房の温度管理を徹底できた。 電気自動車購入	*昼休み使用しない部屋等の照明消灯と、事務所の部分照明の実行
	*エコカー購入	○		*空調機の定期性温度設定
一般廃棄物の削減	*ミスコピーを防止するために使用前に設定確認するとともに次に使用する人に考慮し、使用後は、必ず設定を、リセットする。 コピー用紙の裏面使用	○	*プレビュー確認しプリンタ印刷の抑制 コピーする前にコピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす。使用済み用紙(片面コピー)の裏面利用する。	*ミスコピーを防止するために使用前に設定確認するとともに次に使用する人に考慮し、使用後は、必ず設定を、リセットする。 コピー用紙の裏面使用
	*カートリッジの回収・エコキヤップの回収	○		*カートリッジの回収・エコキヤップの回収
排水量の削減	*節水の呼びかけ *水道管の凍結予防	○	*節水を心掛けたが、暑い夏は、水が必要だった。 冬場、凍結して、水漏れが、あった。	*節水の呼びかけ *水道管の凍結予防
環境保全	・社屋廻りの環境保全 除雪・清掃・防除・剪定	○	*社屋廻りの環境保全に積極的に取り組んだ。	・社屋廻りの環境保全 除雪・清掃・防除・剪定
グリーン購入の推進	*単価・継続性を考え、可能な品目で対応	○	*今後も取り組んでいく	*単価・継続性を考え、可能な品目で対応

【令和4年1月～令和4年12月 環境負荷の実績 現場】

取組み項目	取組み内容	結果	結果の評価	次年度の取り組み
燃料・電力の消費に伴う 二酸化炭素排出量の 削減	*建設機械等の省エネ運転の推進	○	*車の急発進、急加速やアイドリング等のエコドライブを徹底した。	*建設機械等の省エネ運転の推進
	*燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路を検討し、採用する。	○	*燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路をした。	*燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路を検討し、採用する。
産業廃棄物の削減	*マニフェストをもとにした廃棄物の適正な処理 *廃棄物の分別に努める	○	*産業廃材を適切に分類し 適正に処理した	*マニフェストをもとにした廃棄物の適正な処理 *廃棄物の分別に努める
環境保全	*リサイクル品の使用促進 *資材の適正発注による廃棄物・在庫の減量化	○	*リサイクル品の使用促進 無駄のない資材購入に努めた。	*リサイクル品の使用促進 *資材の適正発注による廃棄物・在庫の減量化

## 8 環境関連法規等への違反、訴訟の有無

事業活動を行うに当たって、環境関連法規・条例・その他規則に対しての違反、及び訴訟はありません。また、過去関係当局からの違反等の指摘はありません。

### 主な環境法規制等

法令名	遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物の処理法及び清掃に関する法律		
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	廃棄物の適正処理 再生材の使用	遵法
再生資源利用省令		
建設廃棄物処理 マニュアル	産業廃棄物処理委託契約・マニフェストの管理	
建設副産物適正 処理推進要綱	建設発生土・建設副産物	
建設工事公衆災害防止対策要綱（土木）		
騒音規制法		
振動規制法		遵法
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	特定建設作業の届出 重機の排ガス規制	
河川法		
下水道法		
浄化槽法		
土壤汚染対策法		
消防法	防火・危険物の取扱	遵法
富山県・砺波市環境条例	生活環境の保全	遵法
フロン排出抑制法	建設空調の点検	遵法

## 9 社会貢献活動

美しい環境に恵まれた郷土を守り、次世代へ大切な自然環境を引継ぐ為に、社員全員で「できることから少しづつ」様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

- ・使用済み切手の収集・寄贈

- ・エコキヤップの回収

- ・工事箇所周辺の清掃活動

- ・地域緑化活動への参加

- ・県・市の防災協力

- ・社屋近隣の清掃・除雪



## 10.代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

実施日：令和5年3月15日

承認	作成

報告(環境管理責任者)	コメント・提案(環境管理責任者)	指示事項・変更の必要性
※環境関連法規等の遵守状況 遵守されている。	① 環境関連法規等の遵守状況 このまま継続します。	指示事項
各社員の取り組みの意識は次第 強くなってきた。引き目標をもって 意識するようにしました。	今後、取り組みについて再確認し みんな協力して取り組んでほしいい。	全般的な環境に対する意 識が高まりを、感じられ る。朝礼などで、エコにつ いて意見交換し、継続的 に取り組みたい。  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
社内掲示等により、社員に 周知し方針に沿って行動し ている。	2017年度版に合わせて一部変更 したが、基本的にすべきことは変わ らないので、従前通りの姿勢で取り 組む。	指示事項  このまま経過を見守る  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
朝礼 安全教育 社内掲示で エコ環境について各自が学び 目標が達成できるように 行動する	すべてにおいて良い評価に繋げて いくのは難しいので、施策に対する 効果を検証して改善していく。	指示事項  → 現場数 売上高 仕事に 内容により 結果に影響 が出ることが、今後の課 題であるが、このまま経 過を、見守る。  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
安全教育や社内掲示で環境 教育を行い、社員の環境に 対する意識がわざかながら 向上している。	さらなる定着を図るために、今後も この活動を継続し、周知を図る。	指示事項  このまま経過を見守る  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
① 外部からの苦情等 → なし。	① 外部からの苦情等 → このまま継続します。	指示事項  常に外部とのコミュニケ ーションを図り、活動 を通してより良い改善に 繋げてほしい。  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
報告の見直しなし	現状の見直しなし	指示事項  このまま経過を見守る  変更の必要性：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>